

教科	国語	単元名	かんそうをつたえ合おう「お手紙」
----	----	-----	------------------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用

- ① - STEP 1 D
- ② - STEP 1 F

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

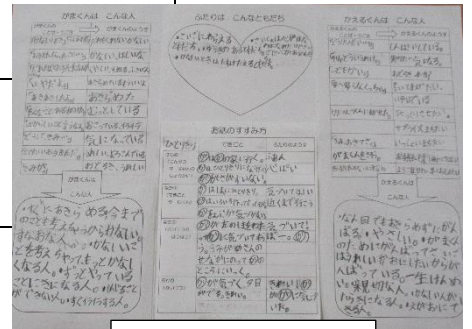
- ・文章の内容と自分の体験を結びつけて感想をもつ力。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・同じシリーズを並行読書し、「お手紙」と比べたり、がまくとかえるくんの人物像や続き話を想像したりして、自分の感想を持つ力

単元における学習の展開 (全12時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	○学習の見通しをもつ ・題名読みをしたり、お手紙を書いたり、もらったりした経験を思い起こす。
第2次 (7時間)	○「お手紙」を読み、人物と場面の様子を確かめる。 ・がまくとかえるくんの様子や行動から二人の気持ちを想像し、リーフレットにまとめる。 ・始めと終わりの場面を比べる。 ・友だちと感想を伝え合う。 ・がまくとかえるくんがどんな友だちなのか考える。
第3次 (4時間)	○がまくとかえるくんシリーズのお話を読み、感想を伝え合う。 ・がまくとかえるくんシリーズを読む。(☆) ・シリーズの中からいくつかのおはなしを選んで読み聞かせ、がまくとかえるくんの行動や様子、想像した続き話を交流する。(☆本時) ・友だちと感想を伝え合う。



作成した「おはなしリーフレット」

本時のねらい

- ・物語の続きを想像しながら、楽しく読み、感想を伝え合うことをとおして考え深める。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. 本時の学習課題を確認する。 これまで読んできたおはなしを振り返る。	シリーズ本を並行読書として、教室に置く。本時で取り扱うお話は、まだ子どもたちは読んでいない。
展開 (35分)	2. 「すいえい」の読み聞かせを聞く。 ・はじめと中①に当たる部分を読み、それぞれの場面のあらすじやがまくとかえるくんの様子を簡単にまとめてワークシートに書き込む。 ・お話の続き(中②とおわり)の部分を実況して、ワークシートに書く。 3. 友だちと想像した続き話を交流する。 ・これまでに読んできたお話の中で読み取ってきたがまくとかえるくんの人物像と比べる。 ・友だちとの共通点や相違点を比べながら、交流を楽しむ。	「お手紙」の学習の時から、始め(お話の設定・人物について)中①(事件)中②(解決の方法)終わり(解決)という展開に分けて読み取っている。本時においても、同じ形のワークシートを使う。 これまでに読んできたお話の中で読み取ってきたがまくとかえるくんの人物像を元にして想像する。
まとめ (5分)	4. 「すいえい」のおはなしを最後まで聞く。 ・自分や友だちが想像したこととの違いや実際の本文を知って、感じたことや考えたことを話し合う。 ・このおはなしを通して考えたがまくとかえるくんの人物像や関係性について、話し合う。	自分の想像と実際のおはなしの展開が違うことが楽しいと感じられるようにする。 「すいえい」のおはなしが入った本を並行読書コーナーに新しく置くことで読書意欲を高める。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「お手紙」の学習で作成したリーフレットを元にして、並行読書をしていくことで、別のおはなしの中での出来事やがまくとかえるくんの行動や様子の違いを読み比べ、楽しんで読むことができていた。
- ・「すいえい」のおはなしでは、いつものがまくとかえるくんの様子が異なって描かれているので、子どもたちの想像が良い意味で裏切られ、それが「面白い」と感じたことにより、読書意欲がさらに高まったと感じた。



リーフレットを見ながら、続き話を想像して書いている